

2025(令和7)年度
北九州市立大学大学院

法 学 研 究 科 (修 士 課 程)
法 律 学 専 攻

社会システム研究科(博士前期課程)
現 代 経 済 専 攻
地 域 コ ミ ュ ニ テ ィ 専 攻
文 化 ・ 言 語 専 攻
東 ア ジ ア 専 攻

学 生 募 集 要 項



公立大学法人
北九州市立大学
THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU

目 次

A 教育目的、アドミッション・ポリシー

- | | |
|---------------------|-------|
| 1 法学研究科（修士課程） | 1 ページ |
| 2 社会システム研究科（博士前期課程） | 2 ページ |

B 入学試験概要

- | | |
|------------------------------|-------|
| 1 法学研究科（修士課程）実施日程、募集人員 | 4 ページ |
| 2 社会システム研究科（博士前期課程）実施日程、募集人員 | 5 ページ |
| 3 試験科目 | 6 ページ |

C 出願について

- | | |
|------------------|--------|
| 1 法学研究科出願資格 | 8 ページ |
| 2 社会システム研究科出願資格 | 9 ページ |
| 3 出願手続 | 9 ページ |
| 4 出願上の注意 | 10 ページ |
| 5 出願書類 | 10 ページ |
| 6 受験及び修学上の配慮について | 12 ページ |
| 7 入学検定料の免除について | 12 ページ |
| 8 個別の入学資格審査について | 12 ページ |
| 9 過去問題の閲覧について | 12 ページ |

D 試験について

- | | |
|----------|--------|
| 1 試験会場 | 13 ページ |
| 2 受験上の注意 | 13 ページ |

E 試験後

- | | |
|-------------|--------|
| 1 合格発表 | 13 ページ |
| 2 入学手続 | 14 ページ |
| 3 入学金等納入金一覧 | 14 ページ |
| 4 年間授業料 | 14 ページ |

F 入試における感染防止対策について

15 ページ

G 各研究科（専攻）の概要

- | | |
|----------------|--------|
| 1 法学研究科（法律学専攻） | 16 ページ |
| 2 社会システム研究科 | 20 ページ |
| (1)現代経済専攻 | 20 ページ |
| (2)地域コミュニティ専攻 | 21 ページ |
| (3)文化・言語専攻 | 22 ページ |
| (4)東アジア専攻 | 23 ページ |
| (5)授業科目 | 24 ページ |

【要項添付書類】

- | | |
|-----------------|------|
| ・ 入学願書 | 様式 1 |
| ・ 受験票・宛名カード・写真票 | 様式 2 |
| ・ 入学志願者調書 | 様式 3 |
| ・ 入学資格審査申請書 | 様式 4 |

A 教育目的、アドミッション・ポリシー

1 法学研究科（修士課程）

		法学専攻			
《教育目的》		高度化・複雑化する地域社会における多様な法的・政策的課題に対応しうる高度な研究能力を備えた人材、専門的知識を持ちかつ適切な問題解決能力を備えた人材、地域貢献を目指す高度で知的素養のある社会人の養成			
		研究者コース		専修コース	
		高度専門教育に対する社会的需要の高まりに対応して、法学・政策科学等の社会科学の分野の研究者として必要となる精緻な専門的知識、創造性豊かな優れた研究能力・問題分析能力、高度な実践能力を備えた人材の養成		高度専門教育に対する社会的需要の高まりに対応して、高度で知的な法学の素養を持ち、法学、政策科学のいずれかに軸足を置いた創造性豊かな優れた研究能力、専門的・実践的知識を身につけた高度専門職業人または社会人の養成	
《求める学生像》		法学系	政策科学系	法学系	政策科学系
		<ul style="list-style-type: none"> ○法学に関する基礎知識を備え、自らが専攻する法分野において研究者を目指すのに相応しい優れた学識と適性を備えた人 	<ul style="list-style-type: none"> ○政治学・行政学などの社会科学に関する基礎知識を備え、自らが専攻する政策科学の分野において研究者を目指すのに相応しい優れた学識と適性を備えた人 ○社会問題の解決に自らの研究成果を積極的に生かし、未来社会の構築に積極的に貢献しようとする姿勢を有した人 	<ul style="list-style-type: none"> ○大学卒業後、そのまま進学して公務員、司法書士、裁判所事務官・検察事務官などの隣接法律専門職を目指す人 ○学士課程で修得した法律知識を補強し、さらに高度の法的素養を備えた社会人を目指す人 ○実社会の経験を基に、法的課題をより専門的に考究する意欲があり、そのための基礎的な知識、能力が備わっている社会人 ○リカレント教育または生涯教育を志す社会人 	<ul style="list-style-type: none"> ○学士課程では十分学習できなかった政策学的知識を補強するべく引き続き幅広く勉学を続け、高度の政策的素養を備えた公務員、教員、政治家、ジャーナリストなどの高度専門職業人を目指す人 ○実社会の経験を基に、政策に関連した特定の課題に強い関心を持ち、その専門的な知見を深め、研究成果を社会に還元することで地域社会等の問題解決・発展に貢献したいと考えている社会人 ○リカレント教育または生涯教育を志し、職業経験を通じて養われた専門的知見を学問的見地からより深め、それを再び職業経験や社会的活動の中で活かすことを望む社会人
《求める能力》	(1)知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ○研究者として法学を学ぶために必要な幅広い法的専門知識と法的素養を身につけている。 ○研究者として論文を執筆するために必要な、法令の解釈や適用に関する基礎的なスキルを身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○研究者として政策科学系の領域を研究するうえで必要となる社会科学の知識・方法論、語学運用能力を備えている。 ○政策科学系の分野を研究するうえで不可欠となる定量的あるいは定性的分析を行う能力を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○法学を学ぶために必要な基礎学力や幅広い教養、経験を有している。 ○論文の執筆に必要な日本語能力やディスカッションに必要なコミュニケーション能力を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会問題に強い関心を持ち、専門研究を進める上で基礎となる社会科学の素養や分析手法を身につけている。 ○自らの専門研究に必要な基礎的読解力、論文作成に必要な文章作成力、語学運用力を有している。
	(2)思考力・判断力・表現力等の能力	<ul style="list-style-type: none"> ○法学上の諸問題について、論理的に思考し、判断するための幅広い法的素養を持っている。 ○法学の専門書を読解する能力や、法的議論を展開する表現力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○研究者になるに相応しい論理的思考力、読解力を有し、どのような分析手法を用いたらよいかについて適切な判断力を有している。 ○自らの考えについて説得力のある議論を展開し、研究内容・成果を適切に表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○法的諸問題について論理的に思考し、判断するための法的素養を持っている。 ○法律に関する文章を読解する能力や、法的議論を展開する表現力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自らの研究する政策科学の分野について論理的に思考し、研究内容・成果を相手に適切に伝え、文章化する基礎的な表現力を身につけている。 ○社会問題の現状分析を適切な手法を用いて行う判断力と解決策について提言する基礎的能力を有している。
	(3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	<ul style="list-style-type: none"> ○他者と協働しつつ、リーダーシップを発揮する、研究者として必要な自律的な姿勢を有している。 ○地域社会が抱える法的諸問題に対して、研究者として取り組む主体的な意欲を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域をはじめとした社会問題の解決に際して、研究者として主体性を持ち、多様な人々と協働して取り組む姿勢を有している。 ○自らが研究する分野において、研究者をはじめ多様な人々と協働して研究する姿勢を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○他者と協働しつつ、リーダーシップを発揮する自律的な姿勢を有している。 ○地域社会が抱える社会的諸問題に対して、積極的に関わろうとする主体的な意欲を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域等を中心とした社会問題に対して、研究成果を積極的に生かし、主体性をもって多様な人々と協働して問題を解決しようという強い意欲や態度を有している。

2 社会システム研究科（博士前期課程）

		現代経済専攻	地域コミュニティ専攻
《教育目的》		国内外の経済社会の動向を的確に把握し、経済・経営の抱える課題について実践的、理論的に解決策を提示できる人材、公共的業務や企業等において活躍できる高度な専門職業人及び研究者の養成	地域コミュニティの現代的再生を目指し、人間関係に係る学際的学問領域を統合した高度専門リカレント教育と高度な専門職業人及び研究者の養成
《求める学生像》		<ul style="list-style-type: none"> ○経済または経営分野に関する理論や基礎的なデータ分析能力を有し、企業等の調査研究職や大学教員を目指す人や会計学の知識を持ち、税理士・公認会計士等の職業会計人を目指す人 ○すでに一定のキャリアを積み、さらにより高度な経済・経営の専門知識を修得したいと考えている人や、政策能力を身につけ、公務員等として地域に貢献したいと考えている人 ○経済学・経営学のより深い修得を通じて母国の経済発展に寄与したいと考えている留学生 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活の場である地域コミュニティに貢献する保健、福祉、教育等の専門職に従事し、リカレント教育の一環として学習を希望する社会人 ○地域における問題や課題を認識し、地域コミュニティが直面する問題を実践的に探求、解決しようとする意欲をもつ人 ○心理学、社会学、社会福祉学、人類学、環境学、生涯学習学、教育学などの分野について関心を持ち、専門的研究を目指す学生および留学生
《求める能力》	(1) 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ○経済学、経営学についての専門的研究に必要な基礎知識を有している。 ○日本語・英語に基づいたコミュニケーション能力と資料分析に必要な語学力・分析力などの基本的技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○心理学、社会学、社会福祉学、人類学、環境学、生涯学習学、教育学についての専門的研究に必要な基礎知識を有している。 ○日本語に基づいたコミュニケーション能力と資料分析に必要な基本的技能を身につけている。
	(2) 思考力・判断力・表現力等の能力	<ul style="list-style-type: none"> ○経済学、経営学の分野における様々な課題を解決するための思考力・判断力を有している。 ○研究活動を通じて得られた成果を、論文・学会などで適切に発表する表現力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○心理学、社会学、社会福祉学、人類学、環境学、生涯学習学、教育学の分野における様々な課題を解決するための思考力・判断力を有している。 ○研究活動を通じて得られた成果を、論文・学会などで適切に発表する表現力を身につけている。
	(3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	<ul style="list-style-type: none"> ○研究者としての自律的な主体性を持って自らの研究に取り組むことができる。 ○地域社会や学会の多様な人々と協働して問題の解決に取り組む素養を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○研究者としての自律的な主体性を持って自らの研究に取り組むことができる。 ○地域社会や学会の多様な人々と協働して問題の解決に取り組む素養を持っている。

文化・言語専攻			東アジア専攻
文化と言語に係る専門知識と能力を涵養し、深い洞察力と広い視野を持つ人材、高度な専門職業人及び研究者の養成			グローバル化する世界の動向を的確に理解し、東アジアをはじめとする国際社会において活躍できる高度な専門職業人及び研究者の養成
英米言語文化領域	中国言語文化領域	比較文化領域	<ul style="list-style-type: none"> ○東アジアを中心とする地域や国際関係に関心があり、それらの専門分野について研究を希望する学生および留学生 ○英語および英米の社会と文化に関心があり、英語の専修免許を取得することで教員を目指す人 ○すでに身に付けている知識と分析能力を一層専門的に向上させ、研究者・大学等の教員を目指す人 ○一定のキャリアを有し、リカレント教育の一環として高度な専門知識を習得したいとする社会人
<ul style="list-style-type: none"> ○高度な言語力を生かし、英語圏の言語・文学・文化についての研究を目指して、国際社会における異言語・文化間に架橋できる広い視野を具えようとする学生および留学生 ○すでに英語の普通一種免許状を取得し、言語・文化に関する専門知識と研究能力を一層向上させるため、英語の専修免許状を取得しようとする人 ○すでに積み上げた一定のキャリアを一層専門的に向上させ、大学・短大などの教員または各種の研究施設の研究者を目指す人 	<ul style="list-style-type: none"> ○すでに身に付けている高度な言語力を生かし、中華文化圏の言語・文学・思想・文化の専門分野についての研究を目指して、国際社会における異言語・文化間に架橋できるような広い視野を具えようとする学生および留学生 ○すでに積み上げた一定のキャリアを一層専門的に向上させ、大学・短大などの教員または各種の研究施設の研究者を目指す人 	<ul style="list-style-type: none"> ○言語、文学、思想、文化などの専門分野の研究を目指して、国際社会における異言語・文化間に架橋できるような広い視野を具えようとする人 ○すでに積み上げた一定のキャリアを一層専門的に向上させ、大学・短大などの教員または各種の研究施設の研究者を目指す人 ○言語・文化に関する一定の知識を有し、グローバル化する世界情勢に対応するため、日本語・日本文化のみならず英語、中国語などと自国の言語・文化との比較研究を行いたい学生および留学生 	
<ul style="list-style-type: none"> ○英語圏の言語・文学・文化についての専門的研究に必要な基礎知識を有している。 ○日本語・英語に基づいたコミュニケーション能力と資料分析に必要な語学力・分析力などの基本的技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○中華文化圏の言語・文学・思想・文化についての専門的研究に必要な基礎知識を有している。 ○日本語・中国語に基づいたコミュニケーション能力と資料分析に必要な語学力・分析力などの基本的技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○比較文化、言語、日本文化についての専門的研究に必要な基礎知識を有している。 ○日本語・英語に基づいたコミュニケーション能力と資料分析に必要な語学力・分析力などの基本的技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○東アジアを中心とする地域や国際関係についての専門的研究に必要な基礎知識を有している。 ○日本語・英語に基づいたコミュニケーション能力と資料分析に必要な語学力・分析力などの基本的技能を身につけている。
<ul style="list-style-type: none"> ○英語圏の言語・文学・文化の分野における様々な課題を解決するための思考力・判断力を有している。 ○研究活動を通じて得られた成果を、論文・学会などで適切に発表する表現力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○中華文化圏の言語・文学・思想・文化の分野における様々な課題を解決するための思考力・判断力を有している。 ○研究活動を通じて得られた成果を、論文・学会などで適切に発表する表現力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○比較文化、言語、日本文化の分野における様々な課題を解決するための思考力・判断力を有している。 ○研究活動を通じて得られた成果を、論文・学会などで適切に発表する表現力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○東アジアを中心とする地域や国際関係の分野における様々な課題を解決するための思考力・判断力を有している。 ○研究活動を通じて得られた成果を、論文・学会などで適切に発表する表現力を身につけている。
<ul style="list-style-type: none"> ○研究者としての自律的な主体性を持って自らの研究に取り組むことができる。 ○地域社会や学会の多様な人々と協働して問題の解決に取り組む素養を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○研究者としての自律的な主体性を持って自らの研究に取り組むことができる。 ○地域社会や学会の多様な人々と協働して問題の解決に取り組む素養を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○研究者としての自律的な主体性を持って自らの研究に取り組むことができる。 ○地域社会や学会の多様な人々と協働して問題の解決に取り組む素養を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○研究者としての自律的な主体性を持って自らの研究に取り組むことができる。 ○地域社会や学会の多様な人々と協働して問題の解決に取り組む素養を持っている。

B 入学試験概要

1 法学研究科(修士課程)実施日程、募集人員

日程	夏期日程	冬期日程
選 抜 区 分	一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜	
願 書 受 付	2024年7月16日(火)～7月23日(火)必着	2024年12月2日(月)～12月6日(金)必着
受験票 発送日	2024年8月15日(木)頃	2025年1月15日(水)頃
試験日	2024年8月25日(日)	2025年2月2日(日)
合 格 発 表	2024年8月30日(金)	2025年2月7日(金)
入 学 手 続	2025年1月20日(月)～1月23日(木)	2025年3月11日(火)～3月15日(土) 〔海外在住者 2025年2月17日(月)～2月26日(水)※1〕

※1 在留資格「留学」により本学への留学を希望する場合、「在留資格認定証明書 (Certificate of Eligibility) 」の交付を受ける必要があります。交付を希望する方は、2月26日(水)までに手続を完了してください。

コース	選抜区分	分野	募 集	集 合 場 所	集 合 時 間	試 験 科 目	時 間		
研究者 コース	一 般 選 抜	法 律 学 系	夏期3名・冬期3名	北 方 キ ャ ン パ ス 本 館	8:30集合	論文試験 英 語 面 接	9:00～12:00		
		政策科学系					14:00～		
	外国人留学生 特 別 選 抜	法 律 学 系				論文試験	9:00～11:00		
		政策科学系				面 接	14:00～		
専 修 コ ー ス	一 般 選 抜	法 律 学 系			夏期3名・冬期3名	北 方 キ ャ ン パ ス 本 館	8:30集合	論文試験 面 接	9:00～10:30
		政策科学系							14:00～
	外国人留学生 特 別 選 抜	法 律 学 系						論文試験	9:00～11:00
		政策科学系						面 接	14:00～
	社会人特別選抜	法 律 学 系	13:45集合	書類審査 面 接			14:00～		
		政策科学系							

2 社会システム研究科(博士前期課程) 実施日程、募集人員

日程	夏期日程	冬期日程
選 抜 区 分	一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜	
願 書 受 付	2024年7月16日(火)～7月23日(火) 必着	2024年12月2日(月)～12月6日(金) 必着
受験票 発送日	2024年8月15日(木)頃	2025年1月15日(水)頃
試験日	2024年8月25日(日)	2025年2月2日(日)
合 格 発 表	2024年8月30日(金)	2025年2月7日(金)
入 学 手 続	2025年1月20日(月)～1月23日(木)	2025年3月11日(火)～3月15日(土) 〔海外在住者 2025年2月17日(月)～2月26日(水) ^{※1} 〕

※1 在留資格「留学」により本学への留学を希望する場合、「在留資格認定証明書 (Certificate of Eligibility)」の交付を受ける必要があります。交付を希望する方は、2月26日(水)までに手続を完了してください。

専 攻 領 域 (分 野)	選 抜 区 分	募 集	集 合 場 所	集 合 時 間	試 験 科 目	時 間
現代経済専攻 経済学 (経済) (会計・経営)	一般選抜 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜	4名	北方 キャン パス 本館	10:40集合	専門問題(論文試験) 面接	11:00～13:00 14:00～
地域コミュニティ専攻 人間関係学 (コミュニティ基礎) (コミュニティ実践) (フィールド文化)	一般選抜 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜	8名		8:30集合	一般問題(小論文) 専門問題(記述式試験) 面接	9:00～10:30 11:00～12:30 14:00～
文化・言語専攻 英米言語文化 中国言語文化 比較文化(言語)	一般選抜	10名		8:30集合	一般問題 (英語/中国語/小論文)	9:00～10:30
	社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜			10:40集合	専門問題(論文試験) 面接	11:00～12:30 14:00～
東アジア専攻 国際学 ^{※2}	一般選抜	4名	8:30集合	一般問題 (英語/中国語/朝鮮語)	9:00～10:30	
	社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜		10:40集合	専門問題(論文試験) 面接	11:00～12:30 14:00～	

※2 東アジア専攻は2026年度入試(2025年度に実施する入試)から募集停止予定です。

3 試験科目

(1) 法学研究科（法律学専攻）

コース	選抜区分	分野	試験科目	出題範囲	試験時間
研究者 コース	一般選抜	法律学系	論文試験	別表1の第1類の科目から専攻を希望する1科目	9:00～12:00(180分)
			英語 面接		14:00～
		政策科学系	論文試験	別表2の第1類の科目から専攻を希望する1科目	9:00～12:00(180分)
			英語 面接		14:00～
	外国人留学生 特別選抜	法律学系	論文試験	別表1の第1類の科目から専攻を希望する1科目	9:00～11:00(120分)
			面接		14:00～
		政策科学系	論文試験	別表2の第1類の科目から専攻を希望する1科目	9:00～11:00(120分)
			面接		14:00～
専修 コース	一般選抜	法律学系	論文試験	別表1の第2類の科目から専攻を希望する1科目	9:00～10:30(90分)
			面接		14:00～
		政策科学系	論文試験	別表2の第2類の科目から専攻を希望する1科目	9:00～10:30(90分)
			面接		14:00～
	外国人留学生 特別選抜	法律学系	論文試験	別表1の第2類の科目から専攻を希望する1科目	9:00～11:00(120分)
			面接		14:00～
		政策科学系	論文試験	別表2の第2類の科目から専攻を希望する1科目	9:00～11:00(120分)
			面接		14:00～
	社会人特別選抜	法律学系	書類審査		14:00～
		政策科学系	面接		

(注1) 選択するコース・分野及び科目名を願書（様式1）の所定欄に記入してください。

(注2) 判例・解説等のついていない六法の持込を許可します（下線、記号等を含む一切の書き込みがないものに限る）。六法の貸与は行いません。

(注3) 英語を受験する者については、英和辞書（電子辞書等を除く）の持込を許可します。辞書の貸与は行いません。

(注4) 論文試験及び面接は、日本語で行います。

別表1（法律学系・試験科目）

第1類	憲法、行政法、民法、刑法、刑事訴訟法、刑事学、社会保障法、法哲学、法社会学、国際法
第2類	憲法、行政法、民法、民事訴訟法、商法、刑法、刑事訴訟法、刑事学、社会保障法、労働法、法哲学、法社会学、国際法

別表2（政策科学系・試験科目）

第1類	福祉政策論、環境政策論、政策評価論、地域経済政策論、政治思想、途上国開発論、都市計画論
第2類	行政学、途上国開発論、環境政策論、地域経済政策論、福祉政策論、政策評価論、政治学、政治思想、比較政治経済学、都市計画論

【選考方法】

（一般選抜・外国人留学生特別選抜）学力検査、面接、入学志願者調書、成績証明書等を総合して行います。

（社会人特別選抜）研究計画書、志望動機、面接、入学志願者調書、成績証明書等を総合して行います。

(2) 社会システム研究科

「現代経済専攻」

選抜区分	試験科目	出題範囲等	試験時間
一般選抜※ 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜	専門問題	分野別共通問題：経済学基礎理論／経営学基礎理論から志望する研究分野の問題を選択 専門選択問題：別表の経済分野／会計・経営分野の科目群から希望する研究指導教員の担当科目に関する問題を選択	11:00～13:00 (120分)
	面接	研究計画書に基づいて面接	14:00～

※一般選抜では、TOEIC L&R500点以上のスコアを有する者が出願できます。提出すべき成績通知書は、TOEIC「公式認定証」とし、出願時から遡って2年間の成績を有効とします。TOEIC IPでは出願できません。

別表

<p>経済分野：マクロ経済学、ミクロ経済学、統計学、地域経済論、経済史、金融論、国際金融論、産業組織論、計量経済学、労働経済学、環境経済学、応用地域科学 会計・経営分野：会計学、財務会計、マーケティング、経営組織論、情報管理基礎、経営戦略論、人的資源管理</p>

【選考方法】学力検査、面接、入学志願者調書、成績証明書等を総合して行います。

「地域コミュニティ専攻」

選抜区分	試験科目	出題範囲等	試験時間
一般選抜 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜	一般問題	小論文	9:00～10:30 (90分)
	専門問題	記述式試験（希望する研究分野に関連する問題）	11:00～12:30 (90分)
	面接	研究計画書に基づいて面接	14:00～

【選考方法】学力検査、面接、入学志願者調書、成績証明書等を総合して行います。

「文化・言語専攻」

選抜区分	試験科目	出題範囲等	試験時間
一般選抜	一般問題	英米言語文化領域：英語 中国言語文化領域：中国語 比較文化領域：小論文若しくは英語から指定	9:00～10:30 (90分)
	専門問題	論文試験（希望する研究分野に関する問題）	11:00～12:30 (90分)
	面接	研究計画書に基づいて面接	14:00～
社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜	専門問題	論文試験（希望する研究分野に関する問題）	11:00～12:30 (90分)
	面接	研究計画書に基づいて面接	14:00～

(注) 辞書の持込はできません。

【選考方法】学力検査、面接、入学志願者調書、成績証明書等を総合して行います。

「東アジア専攻」

選抜区分	試験科目	出題範囲等	試験時間
一般選抜	一般問題	①英語2問 ②中国語2問 ③朝鮮語2問 ④英語1問・中国語1問 ⑤英語1問・朝鮮語1問 ⑥中国語1問・朝鮮語1問 から1つ選択	9:00～10:30 (90分)
	専門問題	論文試験（希望する研究分野に関する問題）	11:00～12:30 (90分)
	面接	研究計画書に基づいて面接	14:00～
社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜	専門問題	論文試験（希望する研究分野に関する問題）	11:00～12:30 (90分)
	面接	研究計画書に基づいて面接	14:00～

(注) 一般問題（英語・中国語・朝鮮語）の試験では、辞書を貸与します。

【選考方法】学力検査、面接、入学志願者調書、成績証明書等を総合して行います。

C 出願について

1 法学研究科出願資格

(1) 一般選抜

次のいずれかに該当する者

- ① 大学を卒業した者及び大学院入学の前年度に卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び大学院入学の前年度に学位取得見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び大学院入学の前年度に修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び大学院入学の前年度に修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び大学院入学の前年度に修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者
- ⑨ 本大学院研究科委員会において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月31日までに22歳に達する者

(2) 社会人特別選抜

上記(1)の各号のいずれかに該当し、2025年4月1日までに各課程等修了後2年以上経過する者または有職者

(3) 外国人留学生特別選抜

日本国籍を有しない者で、次のいずれかに該当する者

- ① 大学を卒業した者及び2025年3月までに卒業見込みの者（注）
- ② 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び大学院入学の前年度に修了見込みの者
- ⑤ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者
- ⑦ 本大学院研究科委員会において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月31日までに22歳に達する者

（注）外国人留学生として卒業した者及び卒業見込みの者に限る

《入学に際しての留意事項》

在留資格が「留学」ではない者は、留学生に対する各種奨学金等の対象にならないことがあります。「留学」への変更を希望する場合、所定の手続きにより在留資格を変更することも可能です。

2 社会システム研究科出願資格

(1) 一般選抜

次のいずれかに該当する者。なお、現代経済専攻を志願する者は、TOEIC L&R 500点(注1)以上のスコアを有する者。

(注1) TOEICスコアの成績は、出願時から遡って2年間の成績を有効とし、提出すべき成績通知書はTOEIC「公式認定証」とします。TOEIC IPでは出願できません。

- ① 大学を卒業した者及び大学院入学の前年度に卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び大学院入学の前年度に学位取得見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び大学院入学の前年度に修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び大学院入学の前年度に修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び大学院入学の前年度に修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者
- ⑨ 本大学院研究科委員会において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月31日までに22歳に達する者

(2) 社会人特別選抜

上記(1)の各号のいずれかに該当し、2025年4月1日までに各課程等修了後3年以上経過する者

(3) 外国人留学生特別選抜

日本国籍を有しない者で、次のいずれかに該当する者

- ① 大学を卒業した者及び2025年3月までに卒業見込みの者（注）
- ② 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び大学院入学の前年度に修了見込みの者
- ⑤ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者
- ⑦ 本大学院研究科委員会において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月31日までに22歳に達する者

(注) 外国人留学生として卒業した者及び卒業見込みの者に限る

《入学に際しての留意事項》

在留資格が「留学」ではない者は、留学生に対する各種奨学金等の対象にならないことがあります。

「留学」への変更を希望する場合、所定の手続きにより在留資格を変更することも可能です。

3 出願手続

(1) 出願受付期間

法 学 研 究 科：夏期日程（一般・社会人・外国人留学生）	2024年7月16日(火)
社会システム研究科：夏期日程（一般・社会人・外国人留学生）	～7月23日(火)必着
法 学 研 究 科：冬期日程（一般・社会人・外国人留学生）	2024年12月2日(月)
社会システム研究科：冬期日程（一般・社会人・外国人留学生）	～12月6日(金)必着

(2) 出願方法

※受付窓口の混雑を避けるため、原則、郵送での出願をお願いします。

① 郵送する場合

必ず速達・簡易書留で上記期間内に到着するよう郵送してください。ただし、出願受付期間最終日の前日以前の発信局（日本国内）消印のある速達・簡易書留郵便に限り、上記受付期間後に到着した場合でも受理します。

送付先 〒802-8577 北九州市小倉南区北方四丁目2番1号
北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係

② 窓口持参する場合

本学に直接持参する場合は、次のとおり入試・研究支援課入学試験係窓口（北方キャンパス本館1階）にて受付を行います。上記受付期間内に出願してください。（土・日・祝日は除く）

受付時間 平日9:00～16:00（12:15～13:15を除く）

4 出願上の注意

- (1) 出願受付完了後は、いかなる理由があっても出願書類の変更は認めません。
- (2) 出願書類に不正の事実があった場合は、入学許可後であっても合格を取り消します。
- (3) 出願書類に不備がある場合には、受理しません。
- (4) 出願書類は、不備により出願が受理されなかった場合を除き、返却できません。
- (5) 出願受付完了後は、入学検定料の返還には応じられません。（入学検定料免除の対象として所定の手続を行った場合を除く。）
- (6) 出願資格要件を満たす見込みで受験し合格した者が、2025年3月31日までに所定の要件を満たすことができなかった場合は、入学許可を取り消します。
- (7) 出願後に住所変更を行った場合は、必ず入試・研究支援課入学試験係(093-964-4022)へ連絡してください。
- (8) 日本国外から出願する場合は、事前に下記連絡先まで連絡してください。
連絡先：北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係 E-mail nyushi2@kitakyu-u.ac.jp
- (9) 研究指導教員については必ず出願前に連絡をして、研究指導許可を得てください。（社会システム研究科の場合）

5 出願書類

(1) 法学研究科出願書類

出願者は下記の書類を一括して、**角形2号(24cm×33.2cm)の封筒（各自で用意してください）**に入れ、封筒の表に「法学研究科入学願書在中」と朱書きしてください。また封筒の裏には住所、氏名を記載して入試・研究支援課入学試験係に提出してください。

①一般選抜・社会人特別選抜

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">① 入学願書 様式1 ※入学資格審査を申請し、認められた者は不要② 受験票・宛名カード・写真票 様式2③ 入学志願者調書 様式3 (研究計画書・入学志望理由書 (指定された様式) 含む)④ 受験票送付用封筒 84円分の切手を貼付した定形封筒 (長形3号 23.5 cm × 12 cm) に宛名を記入したもの⑤ 出身大学の成績証明書 (原本。大学を2025年3月までに卒業見込みの者を含む)
※入学資格審査を申請し、認められた者は不要⑥ 出願資格を証明する次のいずれかの書類 (原本)
ア 出身大学発行の卒業証明書又は卒業見込証明書
イ 学校教育法第104条第7項第1号の規定による学位取得見込み者は、在籍する専攻科の短期大学長又は高等専門学校長の発行する下記のいずれかの証明書
(1) 専攻科修了見込証明書
(2) 学位の授与を申請する予定の証明書
ウ 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構によりすでに学位を授与されている者は、学位授与証明書⑦ 外国人留学生は住民票 (原本)。ただし、居住地の市町村長発行の、在留資格及び在留期間が記載されているもの。※日本に居住していない場合のみパスポートの写しでも可⑧ 社会人特別選抜志願者：在職証明書 (2025年4月1日現在、大学卒業後2年以上経過している者は不要)⑨ 入学検定料 30,000円 (30,000円の郵便為替を買い、<u>受取人欄は記入しないこと</u>)
※日本国外から出願する場合は、事前に下記連絡先まで連絡してください。
連絡先：北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係 E-mail nyushi2@kitakyu-u.ac.jp |
|---|

※卒業証明書等の氏名が出願書類と異なっている場合は、戸籍抄(謄)本を提出してください。
※上記証明書が、日本語又は英語以外で記載されている場合は、日本語で翻訳したものを添付してください。
※出願書類の作成において、ChatGPTなどの生成AIを使用しないでください。

②外国人留学生特別選抜

- ① 入学願書 **様式1** ※入学資格審査を申請し、認められた者は不要
- ② 受験票・宛名カード・写真票 **様式2**
- ③ 入学志願者調書 **様式3** (日本語で自筆のこと)
(研究計画書・入学志望理由書(指定された様式)含む)
- ④ 受験票送付用封筒 **84円分の切手**を貼付した定形封筒(長形3号 23.5cm×12cm)に宛名を記入したもの
- ⑤ 出身大学の成績証明書(原本。大学を2025年3月までに卒業見込みの者を含む)
※入学資格審査を申請し、認められた者は不要
- ⑥ 出身大学発行の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書(原本)
- ⑦ 外国人留学生は住民票(原本)。ただし、居住地の市町村長発行の、在留資格及び在留期間が記載されているもの。※日本に居住していない場合のみパスポートの写しでも可
- ⑧ 入学検定料 30,000円(30,000円の郵便為替を買い、受取人欄は記入しないこと)
※日本国外から出願する場合は、事前に下記連絡先まで連絡してください。
連絡先: 北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係 E-mail nyushi2@kitakyu-u.ac.jp

※上記証明書が、日本語又は英語以外で記載されている場合は、日本語で翻訳したものを添付してください。
※出願書類の作成において、ChatGPTなどの生成AIを使用しないでください。

(2) 社会システム研究科出願書類

出願者は下記の書類を一括して、**角形2号(24cm×33.2cm)の封筒(各自で用意してください)**に入れ、封筒の表に「社会システム研究科博士前期課程入学願書在中」と朱書きしてください。また封筒の裏には住所、氏名、志望する専攻名を記載して入試・研究支援課入学試験係に提出してください。

- ① 入学願書 **様式1** ※入学資格審査を申請し、認められた者は不要
- ② 受験票・宛名カード・写真票 **様式2**
- ③ 入学志願者調書 **様式3**
- ④ 研究計画書(様式任意: A4サイズ1枚程度、志望専攻名と氏名は必ず記入)
- ⑤ 受験票送付用封筒 **84円分の切手**を貼付した定形封筒(長形3号 23.5cm×12cm)に宛名を記入したもの
- ⑥ 出身大学の成績証明書(原本。大学を2025年3月までに卒業見込みの者を含む)
※入学資格審査を申請し、認められた者は不要
- ⑦ 出願資格を証明する次のいずれかの書類(原本)
ア 出身大学発行の卒業証明書又は卒業見込証明書
イ 学校教育法第104条第7項第1号の規定による学位取得見込み者は、在籍する専攻科の短期大学長又は高等専門学校長の発行する下記のいずれかの証明書
(1) 専攻科修了見込証明書
(2) 学位の授与を申請する予定の証明書
ウ 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構によりすでに学位を授与されている者は、学位授与証明書
- ⑧ 現代経済専攻の一般選抜志願者は、TOEIC「公式認定証」の写し(出願時から遡って2年間の成績を有効とする。TOEIC IPでは出願できない)。
- ⑨ 外国人留学生は住民票(原本)。ただし、居住地の市町村長発行の、在留資格及び在留期間が記載されているもの。※日本に居住していない場合のみパスポートの写しでも可
- ⑩ 外国人留学生は修学に差し支えない程度に日本語を習得していることの証明書
(日本留学試験の「日本語」成績通知書、日本語能力試験の認定書等の写し)
本学学部を卒業した者(卒業見込みの者)については提出不要。
- ⑪ 入学検定料 30,000円(30,000円の郵便為替を買い、受取人欄は記入しないこと)
※日本国外から出願する場合は、事前に下記連絡先まで連絡してください。
連絡先: 北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係 E-mail nyushi2@kitakyu-u.ac.jp

※卒業証明書等の氏名が出願書類と異なっている場合は、戸籍抄(謄)本を提出してください。
※上記証明書が、日本語又は英語以外で記載されている場合は、日本語で翻訳したものを添付してください。
※出願書類の作成において、ChatGPTなどの生成AIを使用しないでください。

6 受験及び修学上の配慮について

障害や疾病などで、受験及び修学上特別な配慮を希望する入学志願者は、その措置を講ずるための審査が必要となりますので、事前に下記連絡先へ相談の上、**出願期間初日の2週間前までに**本学が指定する書類を提出してください。詳細・指定する様式については、本学ホームページでご確認ください。

連絡先：北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係 TEL 093-964-4022

7 入学検定料の免除について

2025年度入学試験において、令和6年能登半島地震で被災された志願者の入学検定料の免除を行います。入学検定料の免除を希望する場合は、出願手続の前に下記連絡先に相談してください。詳細については、本学ホームページにてご確認ください。

連絡先：北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係 TEL 093-964-4022

ホームページアドレス：<https://www.kitakyu-u.ac.jp/>

8 個別の入学資格審査について

(8ページ「出願資格」の(1)の⑨及び(3)の⑦で出願する者)

(9ページ「出願資格」の(1)の⑨及び(3)の⑦で出願する者)

本大学院研究科が行う入学資格審査は、次のとおり出願前に個別に行います。

(1) 提出書類

○入学願書 **様式1**

○入学資格審査申請書 **様式4**

○最終学歴の卒業証明書（原本）

○最終学歴の成績証明書（原本）

(2) 提出期間

法 学 研 究 科：夏期日程（一般・社会人・外国人留学生）	2024年6月24日(月) ～6月27日(木) 必着
社会システム研究科：夏期日程（一般・社会人・外国人留学生）	
法 学 研 究 科：冬期日程（一般・社会人・外国人留学生）	2024年11月1日(金) ～11月7日(木) 必着
社会システム研究科：冬期日程（一般・社会人・外国人留学生）	

(3) 提出先

北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係（裏表紙参照）

※郵送の場合は、簡易書留で「入学資格審査申請書在中」と朱書きしてください。

(4) 審査結果の通知

認定の結果は次の期日までに本人に郵便で発送します。

法 学 研 究 科：夏期日程（一般・社会人・外国人留学生）	2024年7月8日(月)
社会システム研究科：夏期日程（一般・社会人・外国人留学生）	
法 学 研 究 科：冬期日程（一般・社会人・外国人留学生）	2024年11月22日(金)
社会システム研究科：冬期日程（一般・社会人・外国人留学生）	

※出願資格が認定された者は「5 出願書類」に従って出願の手続を行ってください。

※出願資格は、認定を受けた研究科が行う当該年度の試験に限り有効とします。

9 過去問題の閲覧について

過去の試験問題は、北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係にて閲覧できます。

その際、身分証明書（免許証、学生証等）が必要ですのでご持参ください。

●閲覧受付時間 平日：9:00～16:00（12:15～13:15を除く）

*個人情報の取扱いについて

本学が所有する個人情報は、公立大学法人北九州市立大学個人情報保護管理規程に基づき適切に取り扱い、以下の目的以外で利用すること、又は第三者に提供することはありません。

- ・志願者の氏名、生年月日、連絡先などの個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続、調査研究及びこれらに付随する業務の遂行に利用します。
- ・合格者の個人情報は、入学手続者に対する入学前指導、入学後の教務関係、学生支援関係、授業料徴収関係などに関する業務のために利用します。

D 試験について

1 試験会場

- (1) 試験会場 北九州市立大学北方キャンパス本館 北九州市小倉南区北方四丁目2番1号
(本要項最終頁案内図参照)
- (2) 主要交通機関 北九州モノレール利用
JR小倉駅(乗り換え)⇒モノレール「小倉」駅乗車⇒(乗車時間約10分)⇒モノレール「競馬場前(北九州市立大学前)」駅下車⇒(徒歩約3分)⇒北九州市立大学北方キャンパス
※車でのお断りします。

2 受験上の注意

- (1) 受験当日は、必ず受験票を持参してください。受験票が試験日の前々日まで未着の場合は、入試・研究支援課入学試験係(093-964-4022)にご連絡ください。
- (2) 遅刻は、試験開始後30分までに入室した者に限り認めます。ただし、面接の遅刻は認めません。
- (3) 定期に運行している公共交通機関の大幅な遅れにより試験開始時刻に遅刻した場合には、所定の試験時間を確保して試験を行います。その際、当該公共交通機関を利用したことの証明のため、乗車時刻、到着時刻等をあらかじめメモし申告してください。(自家用車の利用による遅延は、この対象となりません。)
- (4) 筆記用具(鉛筆(シャープペンシル可)、消しゴム)、腕時計を持参してください。ただし、通信機能、計算機能、翻訳機能、辞書機能等の多機能時計は厳禁です。
- (5) スマートフォン・携帯電話・ウェアラブル端末・タブレット端末等の通信機器を時計として使用することはできません。また、これらの通信機器は入室の際に必ず電源を切ってください。
- (6) 面接は、14時の開始となります。昼食は各自で用意しておいてください。また、受験者が多い場合等、面接開始までに時間がかかることがあります。面接控室での待機となりますので、読書など長時間待機できる準備をしておいてください。(スマートフォン・携帯電話等の通信機器の使用は禁止します。)

E 試験後

1 合格発表

(1) 合格発表日時

法学研究科：夏期日程(一般・社会人・外国人留学生)	2024年8月30日(金) 午前10時
社会システム研究科：夏期日程(一般・社会人・外国人留学生)	
法学研究科：冬期日程(一般・社会人・外国人留学生)	2025年2月7日(金) 午前10時
社会システム研究科：冬期日程(一般・社会人・外国人留学生)	

(2) 合格発表方法

- ① ホームページ 合格発表日の午前10時頃、本学ホームページに合格者受験番号を掲載します。
北九州市立大学ホームページ(<https://www.kitakyu-u.ac.jp/>)
- ② 合格通知 合格者には、発表日当日に「合格通知書」を簡易書留で発送します。未着の場合、郵便局の不在票を確認してください。

- ※ 合格に関することや、受験番号の問い合わせには一切応じません。
※ 学内掲示は行いません。

2 入学手続

(1) 入学手続期間

法 学 研 究 科：夏期日程（一般・社会人・外国人留学生）	2025年1月20日(月)～1月23日(木)
社会システム研究科：夏期日程（一般・社会人・外国人留学生）	
法 学 研 究 科：冬期日程（一般・社会人・外国人留学生）	2025年3月11日(火)～3月15日(土) 海外在住者 2月17日(月)～2月26日(水) ※ ¹
社会システム研究科：冬期日程（一般・社会人・外国人留学生）	

※¹ 在留資格「留学」により本学への留学を希望する場合、「在留資格認定証明書 (Certificate of Eligibility)」の交付を受ける必要があります。交付を希望する方は、2月26日(水)までに手続を完了してください。

- (2) 入学手続に関する詳細については、「合格通知書」送付の際にお知らせする予定です。
- (3) 入学手続には、受験票が必要です。大切に保管しておいてください。
- (4) 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学辞退として取り扱います。理由のいかんを問わず、入学手続期間の延長は行いません。
- (5) 期間内に入学金の納入、必要書類の提出を完了した者に入学を許可します。
- (6) 一旦納入した入学金は、いかなる理由があっても返還しません。

3 入学金等納入金一覧

* 現行の金額です。変更となることがあります。

種 別		金 額		備 考
入 学 金	北九州市内居住者		282,000円	下記 備考 1 参照
	上記以外の者		423,000円	
保 険 料	学生教育研究災害傷害保険 (学研災)		1,750円	
	学研災付帯賠償責任保険 (学研賠)		680円	
諸 会 費	後 援 会 費	会 費	20,000円	下記 備考 3 参照
		(注)15,000円		
	同 窓 会 費	入 会 金	30,000円	本学卒業生で既に納めている方は不要
		会 費	20,000円	
	法 学 会 費 (法学研究科のみ)	会 費	5,000円	
	経 済 学 会 費 (現代経済専攻のみ)	入 会 金	1,200円	本学経済学会既入会者は不要
会 費		4,400円		

- 備考 1 北九州市内居住者とは、入学する本人又はその配偶者若しくは2親等内の親族が、入学の前年度において北九州市の市民税納税義務者（又は市民税非課税者）であり、かつ入学金納入のときまで引き続き北九州市内に住所を有する者をいい、それを証明する書類（市民税納税証明書、納税義務者の住民票、入学者と納税義務者の続柄がわかる書類など）が必要となります。なお、「入学の前年度において北九州市の市民税納税義務者（又は市民税非課税者）」であるためには、2024年1月1日現在北九州市に在住していることが必要です。
- 2 保険料及び諸会費の金額はいずれも一括納入額です。保険料及び学費は2ヵ年分、後援会費は在籍期間中における会費、同窓会費は終身会費です。
諸会費については、入学の必須条件ではありません。
- 3 本学学部から引き続き入学される方で、(学部在学) 現在後援会員の方の会費は上記(注)の金額です。
- 4 本学では、学生の教育研究活動中の事故によるケガ等に備えて、全学生に「学生教育研究災害傷害保険」及び「学研災付帯賠償責任保険」に加入をしていただき、万が一の場合に、学生の負担軽減を図ることとしています。
※【参考】学研災付帯賠償責任保険(学研賠)：正課(特に、実験・実習等)、学校行事、課外活動及びその往復中の賠償責任事故を対象。

4 年間授業料

※現行の金額・納入方法です。入学時に変更となることがあります。

年間授業料	納入回数		納 入 方 法
	(第 1 期)	(第 2 期)	
535,800円	267,900円	267,900円	口座振替による、年間2期の分割納入です。 入学手続時に口座振替依頼書を提出していただきます。

※在学中に授業料の改定及び納入方法等の改定が行われた場合、改定時から適用されることとなります。

F 入試における感染防止対策について

「2025年度法学研究科(修士課程)、社会システム研究科(博士前期課程)入学試験」(2024年度に実施する試験)に関する「入試における感染防止対策」については、文部科学省の方針等を踏まえ、決定次第、本学ホームページ(<https://www.kitakyu-u.ac.jp/>)に掲載いたします。

[連絡先] 北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係 TEL 093-964-4022
(ホームページアドレス <https://www.kitakyu-u.ac.jp/>)

G 各研究科(専攻)の概要

1 法学研究科(法律学専攻)

(1) 概要

法学研究科は、本学の基本理念である「地域に根ざし、時代をリードする人材の育成と知の創造」の実現に向け、北九州都市圏を中心とする福岡・山口県域における法学に関する教育研究の中核的役割を担うため、1984年に設置されました。設置以来、本研究科では、時代・社会のニーズの変化に対応して大学院改革にも積極的に取り組んでまいりました。2013年度からは、社会経験・知識の豊富な社会人学生と若年学生との相互啓発を図りながら、多様な進路希望に応じた大学院教育をより充実・強化するために、従来のアドヴァンストコースと社会人コースを統合した「専修コース」と研究者養成を目的とする「研究者コース」の2つの履修コースにしました。

さらに、教育課程においても大幅な見直しをしました。2013年度から実施された教育課程では、いわゆる「コースワーク制」を導入しています。具体的には、法律学専攻として共通する「専攻共通科目」(必修)、法律学系と政策科学系の各々に系共通の「専門基礎科目」(必修)を新設しました。学生がこれらの幅広い基礎的能力や俯瞰的なものの見方を修得した上で専門分野を選択し、それぞれの研究指導へと有機的につながるよう、これまでよりも体系的な教育課程に再編しました。なお、社会人の受け入れを容易にするため夜間を中心とした昼夜開講制、より広範な知識を修得できるためセメスター制を導入しています。

(2) 取得学位

修士(法学)

(3) 資格

中学校教諭専修免許状(社会)、高等学校教諭専修免許状(公民)

(4) コース・系

①研究者コース

各自の専門分野をより深く学んで、将来研究者になろうと考えている人のために、修士論文の作成を中心とした教育研究指導を行うコースです。各自が希望する専門分野に応じて、法律学系、政策科学系の2つの系を設置しています。

(法律学系)

- 導入科目である専攻共通科目において、法律学・政策科学の全体を俯瞰し、自らが専門として研究しようとする分野の法学全体の中での位置づけを把握するために必要となる知識を修得します。
- また、同時並行的に、専門基礎科目で法律学固有の調査研究方法論を含む法律文献調査の基礎を系統的に学習し、論理的かつ批判的に分析、議論できる能力の基盤を築きます。
- 専門科目では、自らが専門として研究する法分野の高度で精緻な専門的知識とともに、課題発見・解決能力、高度化・複雑化する地域社会の多様な法的問題に対応できる総合的な視野を形成する上で必要となる関連分野の基礎的素養を身につけます。
- 研究者コースでは、担当指導教員の個別指導のもとで、将来研究者として自立するために必要な能力を身につける特別研究を履修します。専門科目で修得した高度な専門的知識と総合的な視野、専門基礎科目で身につけた調査研究方法を駆使し、自らが専門とする法分野の研究を一層深め、高度な法的思考力、法的観点から論理的かつ批判的に分析、議論できる能力を形成します。また、その過程を通じて、主体的な研究態度等を身につけます。

(政策科学系)

- 導入科目である専攻共通科目において、法律学・政策科学の全体を俯瞰し、自らが専門として研究しようとする分野の法学全体の中での位置づけを把握するために必要となる知識を修得します。
- また、同時並行的に、専門基礎科目で政策科学固有の調査研究方法論の基礎を系統的に学習し、自らの専門的研究からの適切なアプローチの手法、課題解決に必要な情報収集・分析能力、政策評価能力の基盤を築きます。
- 専門科目では、自らが専門として研究する政策科学分野の高度で精緻な専門的知識とともに、課題発見・解決能力、高度化・複雑化する地域社会の諸問題に対応できる総合的な視野を形成する上で必要となる関連分野の基礎的素養を身につけます。

- 研究者コースでは、担当指導教員の個別指導のもとで、将来研究者として自立するために必要な能力を身につける特別研究を履修します。専門科目で修得した高度な専門的知識と総合的な視野、専門基礎科目で身につけた調査研究方法を駆使し、自らが専門とする政策科学分野の研究を一層深め、確かな情報収集・分析能力、課題解決に有用な政策立案能力・政策評価能力を形成します。また、その過程を通じて、政策学的な観点から説得力のある議論を展開していく能力や主体的な研究態度等を身につけます。

②専修コース

高度な専門知識を有する職業人・知的素養のある社会人を目指す人のために、学部での学習や社会人としての経験から関心を持った特定の課題について、幅広い視野に立ちながら、より専門性の高い研究ができるように指導するコースです。各自が希望する専門分野に応じて、法律学系、政策科学系の2つの系を設置しています。また、夜間のみの受講で修了可能なように時間割が組まれています。

(法律学系)

- 導入科目である専攻共通科目において、法律学・政策科学の全体を俯瞰し、自らが専門として研究しようとする分野の法学全体の中での位置づけを把握するために必要となる知識を修得します。
- また、同時並行的に、専門基礎科目で法律学固有の調査研究方法論を含む法律文献調査の基礎を系統的に学習し、論理的・批判的な分析能力の基盤を築きます。
- 専門科目では、自らが専門として研究する法分野の高度で精緻な専門的知識とともに、地域社会で中核的な役割を担う高度専門職業人・知的素養のある社会人として必要となる法分野の専門的・実務的知識を幅広く学習します。
- 専修コースでは、各自の経験から関心をもった特定の課題について、複数の教員による指導体制のもとで研究していく特定課題研究を履修します。特定課題研究では、幅広い視野に立ちながら、専門科目で修得した高度な専門的・実務的知識、専門基礎科目で身につけた調査研究方法を駆使し、特定の課題を法学的な観点から深く掘り下げて研究し、批判的分析能力・論理的思考能力、地域社会の中でリーダーシップを発揮する積極的・主体的な行動力等を身につけます。

(政策科学系)

- 導入科目である専攻共通科目において、法律学・政策科学の全体を俯瞰し、自らが専門として研究しようとする分野の法学全体の中での位置づけを把握するために必要となる知識を修得します。
- また、同時並行的に、専門基礎科目で政策科学固有の調査研究方法論の基礎を系統的に学習し、自らの専門的研究からの適切なアプローチの手法、課題解決に必要な情報収集・分析能力、政策評価能力の基盤を築きます。
- 専門科目では、自らが専門として研究する政策科学分野の高度で精緻な専門的知識とともに、地域社会で中核的な役割を担う高度専門職業人・知的素養のある社会人として必要となる政策科学分野の専門的・実務的知識を幅広く学習します。
- 専修コースでは、各自の経験から関心をもった特定の政策的課題について、複数の教員による指導体制のもとで研究していく特定課題研究を履修します。特定課題研究では、幅広い視野に立ちながら、専門科目で修得した高度な専門的・実務的知識、専門基礎科目で身につけた調査研究方法を駆使し、特定課題を深く掘り下げて研究し、実証的調査研究能力・実践的政策提言能力、地域社会の中でリーダーシップを発揮する積極的・主体的な行動力等を身につけます。

(5) 担当教員・専門分野・研究テーマ(非常勤講師は除く)

法律学系

分 野	教 員 名		専門分野・研究テーマ
憲 法	○教 授	中村 英樹	憲法、自己決定権論、表現の自由論、放送法制を中心としたメディア法論
憲 法	准教授	山本 健人	憲法、比較憲法、信教の自由・政教分離、移民法制
行 政 法	○教 授	井上 禎男	行政法、放送・通信法制、情報公開・個人情報保護法制、災害・防災と法制度、地方自治法制
行 政 法	○准教授	近藤 卓也	行政法、国家賠償法制、公務員の個人責任、水害訴訟

法学系のつづき

分野	教員名	専門分野・研究テーマ
民法	○教授 矢澤 久純	民法、損害賠償論、時効制度など
民法	○准教授 和泉澤 千恵	民法、医事法（特に、医療スタッフ規定にかかる業務分担論）
民法	○准教授 福本 忍	民法、契約解除の基礎理論・要件論、解除と危険負担の関係、フランスの解除法制
民法	○准教授 清水 裕一郎	民法、担保物権法、特に動産担保（動産先取特権、譲渡担保、所有権留保など）に関する諸問題
商法	教授 高橋 衛	商法、コーポレート・ガバナンスと会社法、取締役責任論
民事訴訟法	准教授 齋藤 友美子	民事訴訟法、多数当事者訴訟、判決効
刑法	准教授 大杉 一之	刑法、違法論と正当化理論、とくに正当防衛と承諾の正当化根拠と要件
刑法	○准教授 土井 和重	刑法、刑罰論と量刑法、災害と過失犯処罰、財産犯論
刑事訴訟法	○准教授 水野 陽一	刑事手続における公正な裁判、個人情報保護（遺伝情報、AIの社会実装等）、被害者の権利
刑事学	○教授 藤田 尚	刑事政策、犯罪学、少年非行、司法と福祉の連携、社会的養護と犯罪予防
法哲学	○教授 重松 博之	法哲学、法思想史（ヘーゲル承認論および現代正義論）
法社会学	○教授 林田 幸広	理論法社会学、後期近代の法主体論・公共性論
国際法	○教授 二宮 正人	国際法、国際機構法（国際機構と加盟国との間の法的関係の分析：安全保障・人権・開発分野の活動を対象に）
社会保障法	○教授 津田 小百合	社会保障法、社会保険制度の基礎構造に関する法的諸問題
労働法	准教授 岡本 舞子	労働法、労働時間法、労働契約論

政策科学系

分野	教員名	専門分野・研究テーマ
政治思想	○教授 大澤 津	政治理論、特に分配的正義論
政治学	准教授 上條 諒貴	現代政治分析、比較政治学、数理分析
地域経済政策論	○教授 田代 洋久	都市（地域）政策、文化観光まちづくり、都市の魅力創造、公民協働、公共施設のマネジメント
環境政策論	○教授 申 東愛	政策過程、制度比較分析（日韓中、独逸、米国の環境政策）、環境政策、低炭素都市政策（日韓中、独逸）、再生エネルギー政策、ガバナンス論
福祉政策論	○教授 狭間 直樹	行政学、社会保障論、公共サービス（特に社会福祉サービス）の民営化・市場化、非営利組織の公益性についての研究
政策評価論	○准教授 横山 麻季子	行政学、地方自治論、特に地方自治体における評価制度・活動による行政サービス等へのインパクトに関する実証研究など
行政学	准教授 黒石 啓太	行政学、地方自治論
途上国開発論	○准教授 吉田 舞	労働社会学、都市開発と社会環境、移民政策、東南アジア地域研究
比較政治経済学	准教授 澁谷 壮紀	政治行動論、比較政治学、政治学方法論
都市計画論	○教授 石松 一仁	土木環境システム、ランドスケープ科学、特に持続可能な人と自然の関係性についての研究

○は研究指導教員（「○」記載の教員から研究指導教員を選び、入学願書「様式I」に記入してください。）

(6) 授業科目

[単位数] 特別研究科目及び特定課題研究科目は各4単位、他は各2単位

科目区分		科目名	科目区分		科目名	
法律学系科目	専攻共通科目*1	法政総合演習	政策科学系科目	専門基礎科目*5	政策調査法	
	専門基礎科目*2	法律文献調査		専門科目	政治学 I～IV 行政学 I～IV 政治思想史 I～IV 途上国開発論 I～IV 地域経済政策論 I～IV 公共政策論 I～IV 福祉政策論 I～IV 環境政策論 I～IV 政策評価論 I～IV 比較政治経済学 I～IV 現代政治論 I・II 都市環境論 I・II NPO・社会起業論 I・II 都市計画論 I・II 自治体政策論 I・II	
	専門科目	憲法A I～IV		特別研究科目*6		政治学特別研究 I・II 行政学特別研究 I・II 政治思想史特別研究 I・II 途上国開発論特別研究 I・II 地域経済政策論特別研究 I・II 公共政策論特別研究 I・II 福祉政策論特別研究 I・II 環境政策論特別研究 I・II 政策評価論特別研究 I・II 比較政治経済学特別研究 I・II
		憲法B I～IV				
		行政法A I～IV				
		行政法B I～IV				
		行政法C I～IV				
		民法A I～IV				
		民法B I～IV				
		民法C I～IV				
民法D I～IV						
商法A I～IV						
商法B I～IV						
民事訴訟法A I～IV						
民事訴訟法B I～IV						
刑法A I～IV						
刑法B I～IV						
刑事訴訟法 I～IV						
刑事学 I～IV						
労働法 I～IV						
社会保障法 I～IV						
国際法 I～IV						
日本法制史 I～IV						
法哲学 I～IV						
法社会学 I～IV						
知的財産法 I・II						
法律実務特講 I・II						
特別研究科目*3	憲法特別研究 I・II 行政法特別研究 I・II 民法特別研究 I・II 商法特別研究 I・II 民事訴訟法特別研究 I・II 刑法特別研究 I・II 刑事訴訟法特別研究 I・II 刑事学特別研究 I・II 労働法特別研究 I・II 社会保障法特別研究 I・II 国際法特別研究 I・II 法哲学特別研究 I・II 法社会学特別研究 I・II	特定課題研究科目*7	地域政策特定課題研究 I・II 比較政策特定課題研究 I・II			
特定課題研究科目*4	私法領域特定課題研究 I・II 公法領域特定課題研究 I・II					

- *1 専攻共通の必修科目
- *2 法律学系共通の必修科目
- *3 研究者コース(法律学系)の必修科目
- *4 専修コース(法律学系)の必修科目
- *5 政策科学系共通の必修科目
- *6 研究者コース(政策科学系)の必修科目
- *7 専修コース(政策科学系)の必修科目

※ コースによって修了要件が異なります。また年度によって開講されない科目もあります。
 ※ 授業科目は変更する場合があります。

2 社会システム研究科

(1) 現代経済専攻

① 目的

国内外の経済社会の動向を的確に把握し、経済・経営の抱える課題について実践的、理論的に解決策を提示できる人材及び公共的業務や企業等において活躍できる高度な専門職業人を養成します。

② 取得学位

修士（経済学）

③ 科目、研究指導教員、専門分野・研究テーマ

分野	科目	研究指導教員名	専門分野・研究テーマ
経 済	労働経済学	畔 津 憲 司	賃金や雇用に関する理論的及び実証的研究
	環境経済学	牛 房 義 明	環境・エネルギー経済学、行動経済学、応用計量経済学、機械学習、再生可能エネルギー、グリーンイノベーションの経済分析
	産業組織論	後 藤 宇 生	実証産業組織論
	マクロ経済学	田 中 淳 平	マクロ経済動学の数理的分析
	地域経済論	田 村 大 樹	情報社会における経済活動の空間編成原理とそれが地域経済に与える影響について
	経済史	土 井 徹 平	近代日本における労働移動と雇用、労使関係について
	計量経済学	藤 井 敦	医療・医薬品分野の計量経済学的効率性分析
	国際金融論	前 田 淳	国際金融システムがどのように不安定化しつつあるかの研究
会 計 ・ 経 営	情報管理基礎	池 田 欽 一	データの管理・統計分析、複雑系経済学
	経営戦略論	浦 野 恭 平	中小企業（特に製造業）のイノベーションに関する研究
	経営組織論	山 下 剛	組織と個人の統合に関する理論的研究

上表の中から研究指導教員を選び、入学願書「様式1」に記入してください。

（注）研究指導教員については海外研修等で不在の場合があるため、必ず出願前に確認をしてください。

(2) 地域コミュニティ専攻

① 目的

地域コミュニティの現代的再生を目指し、人間関係に係る学際的学問領域を統合した高度専門リカレント教育と高度な専門職業人を養成します。

② 取得学位

修士（人間関係学）

③ 科目、研究指導教員、専門分野・研究テーマ

分野	科目	研究指導教員名	専門分野・研究テーマ
コミュニティ基礎	教育制度論	児玉 弥生	日本における学校と地域の関係
	社会心理学	田島 司	社会心理学、自己と集団、社会の関係
	生涯学習論	恒吉 紀寿	社会教育学・生涯学習、主体形成のプロセスとその支援についての研究
	認知心理学	松本 亜紀	認知心理学、注意、記憶、情動に関する研究
コミュニティ実践	社会福祉援助論	坂本 毅啓	福祉ニーズ・社会的排除の分析と、それに対する福祉的支援・制度・政策のあり方に関する社会福祉学的研究
	司法福祉論	深谷 裕	非行と犯罪に対する心理・社会的アプローチ
	教育心理学	山下 智也	教育心理学、子どもの遊び場・居場所に関する実践的研究
	都市マネジメント学	小林 敏樹	都市計画、まちづくり、持続可能な都市・地域のあり方に関する研究
		上田 紋佳	言語・教授学習心理学、読書をはじめとする言語活動および児童の言語発達に関する研究
フィールド文化	環境社会学	岩松 文代	森林資源利用に関する歴史・文化・社会的研究
	フィールドワーク論	竹川 大介	人類学、アジア太平洋地域の海洋民の生業・資源利用に関する生態人類学的研究
	文化社会学	濱野 健	グローバリゼーションに伴う家族関係の変容について社会学的視点からの比較研究

上表の中から研究指導教員を選び、入学願書 様式1 に記入してください。

(注) 研究指導教員については海外研修等で不在の場合があるため、必ず出願前に確認をしてください。

(3) 文化・言語専攻

① 目的

文化と言語に係る専門知識と能力を涵養し、深い洞察力と広い視野を持つ人材の養成及び高度な専門職業人を養成します。

② 取得学位・資格等

修士（英米言語文化）・（中国言語文化）・（比較文化）

免許状／中学校教諭専修免許状（英語） 高等学校教諭専修免許状（英語）

③ 科目、研究指導教員、専門分野・研究テーマ

分野	科目	研究指導教員名	専門分野・研究テーマ
英米言語文化	現代アメリカ文学研究	Wayne.E. Arnold	20th-century Modern American literature
	イギリス文化研究	Adam Hailes	イギリス演劇・シェイクスピア
	英語表現法 第二言語習得研究	Jenifer Larson-Hall	第二言語習得研究
	イギリス文学研究	木原 謙一	イギリス・アイルランド文学、比較文学
	アメリカ文化研究	齊藤 園子	19世紀・20世紀初頭のアメリカ文学・文化・英語圏文学
	社会言語学研究	平野 圭子	社会言語学（ことばのバリエーションと変化）
	アメリカ文学研究	前田 譲治	現代アメリカ文学・文化
中国言語文化	中国語教育論研究	胡 玉華	中国語教育研究
	中国民族文化研究 中国民間文学研究	武井 満幹	中国古代文学史
比較文化	日英比較文化研究	Fiona Creaser	ジェンダー及びダイバーシティ（特に女性のエンパワメント&ジェンダーダイバーシティ）
	日米比較文化研究	Rodger Williamson	日米比較文化、小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）
		漆原 朗子	言語学（生成文法理論による日・朝・英語比較）
	理論言語学研究 （形態論）	團迫 雅彦	言語獲得、統語論、生成文法
	理論言語学研究 （統語論）	永末 康介	言語学（主として統語論）・言語教育
	日本表象文化研究	真鍋 昌賢	口承文芸研究、近現代芸能史、大衆文化論

上表の中から研究指導教員を選び、入学願書 様式1 に記入してください。

（注）研究指導教員については海外研修等で不在の場合があるため、必ず出願前に確認をしてください。

(4) 東アジア専攻

① 目的

グローバル化する世界の動向を的確に理解し、東アジアをはじめとする国際社会において活躍できる高度な専門職業人を養成します。

② 取得学位・資格等

修士（国際学）

免許状／中学校教諭専修免許状（英語） 高等学校教諭専修免許状（英語）

③ 科目、研究指導教員、専門分野・研究テーマ

科 目	研究指導教員名	専門分野・研究テーマ
国際協力研究	大 平 剛	国際開発協力における国際政治
国際経済研究	魏 芳	国際経済論、国際貿易・産業政策の経済分析
アメリカ人種関係研究	北 美 幸	移民やエスニック・マイノリティーを中心とするアメリカ研究
東南アジア近現代史研究	篠 崎 香 織	東南アジア島嶼部のエスニシティ・ナショナリズム論
現代中国政治研究	下 野 寿 子	中国・台湾の政治社会、中台関係
現代中国経済研究	白 石 麻 保	開発(ミクロ)経済学、中国経済の実証分析
アメリカ社会史研究	寺 田 由 美	階級とジェンダーの観点からのアメリカ研究
アメリカ社会研究	中 野 博 文	アメリカ政治、アメリカ政治史
イギリス地域研究	久 木 尚 志	階級・エスニシティの観点からのイギリス研究
中国社会史研究	堀 地 明	16～20世紀前半中国における社会・経済・政治・外交の研究
東南アジア地域研究Ⅱ	山 口 裕 子	社会人類学、東南アジア地域研究、インドネシア近代史

上表の中から研究指導教員を選び、入学願書 **様式 1** に記入してください。

(注) 研究指導教員については海外研修等で不在の場合があるため、必ず出願前に確認をしてください。

(5) 授業科目

専攻	領域	区分		授業科目	単位	区分	授業科目	単位				
現代経済	経済学	専門基礎科目	経済科目群	マクロ経済分析基礎	2	専門科目	マクロ経済学	2				
				ミクロ経済分析基礎	2		ミクロ経済学	2				
				計量経済分析基礎	2		財政学Ⅱ	2				
				財政学Ⅰ	2		金融論	2				
				地域経済論	2		国際金融論	2				
				経済史	2		産業組織論	2				
			経営科目群	会計学Ⅰ	2		統計学	2				
				財務会計Ⅰ	2		計量経済学	2				
				経営学Ⅰ	2		労働経済学	2				
				マーケティング	2		環境経済学	2				
				経営組織論	2		応用地域科学	2				
				情報管理基礎	2							
				経営科目群	会計学Ⅱ		2	会計学Ⅱ	2			
					財務会計Ⅱ		2	財務会計Ⅱ	2			
					管理会計		2	管理会計	2			
					経営学Ⅱ		2	経営学Ⅱ	2			
地域コミュニティ	人間関係学	専門基礎科目	コミュニティ理論科目群	社会心理学	2	専門科目	コミュニティ理論科目群	認知心理学	2			
				生涯学習論	2		教育制度論	2				
			コミュニティ実践科目群	臨床心理学	2		コミュニティ実践科目群	臨床教育学	2			
				教育心理学	2		福祉コミュニティ論	2				
		社会福祉援助論		2	司法福祉論		2					
		フィールド文化科目群	都市マネジメント学	2	フィールド文化科目群		フィールドワーク論	2				
			人間環境学	2			臨床社会学	2				
			文化社会学	2			環境社会学	2				
			都市社会学	2								
		文化・言語	英米言語文化	専門基礎科目	英米言語文化科目群		イギリス文学研究概論	2	専門科目	英米言語文化科目群	英語表現法	2
							アメリカ文学研究概論	2			現代イギリス文学研究	2
英語学研究概論	2					イギリス文学研究	2					
英語教育法研究概論	2					イギリス文化研究	2					
				現代アメリカ文学研究	2							
				アメリカ文学研究	2							
				アメリカ文化研究	2							
				社会言語学研究	2							
			英語翻訳研究	2								
			英語通訳研究	2								
			第二言語習得研究	2								
中国言語文化	専門基礎科目		中国言語文化科目群	中国語法研究概論	2	専門科目	中国言語文化科目群	中国民族文化研究		2		
				中国文化研究概論	2			中国哲学史研究		2		
				中国思想文化研究概論	2			中国語教授法研究		2		
					中国民間文学研究			2				
					中国文化史研究			2				
				中国古典文学研究	2							
		中国語音声学研究	2									
		中国語教育論研究	2									

専攻	領域	区分		授業科目	単位	区分	授業科目	単位												
文化・言語	比較文化	専門基礎科目	比較文化・言語科目群	比較文化研究概論	2	専門科目	比較文化・言語科目群	日本宗教文化研究	2											
				日本文化研究概論	2			日本美術史研究	2											
				言語学研究概論	2			日本表象文化研究	2											
				比較文学研究概論	2			日本古典文学研究	2											
												比較広域文学研究	2							
												比較広域文化研究	2							
												ヨーロッパ比較文化研究	2							
												日英比較文化研究	2							
												日米比較文化研究	2							
												理論言語学研究(形態論)	2							
												理論言語学研究(統語論)	2							
												専門基礎科目		東アジア科目群	中国研究概論	2	専門科目	東アジア科目群	中国社会史研究	2
															東北アジア研究概論	2			現代中国政治研究	2
東南アジア研究概論	2	現代中国経済研究	2																	
国際学科目群	アメリカ社会史概論	2	東アジア国際政治研究	2																
	アメリカ社会概論	2	東アジア政治思想研究	2																
	アメリカ人種関係概論	2	現代韓国経済研究	2																
	イギリス地域概論	2	日本社会史研究	2																
	国際関係研究概論	2	近代日本政治外交史研究	2																
								東南アジア近現代史研究	2											
								東南アジア地域研究Ⅰ	2											
								東南アジア地域研究Ⅱ	2											
								国際学科目群		アメリカ社会史研究	2	国際学科目群	アメリカ社会研究	2						
										アメリカ社会研究	2		アメリカ人種関係研究	2						
										イギリス地域研究	2		イギリス地域研究	2						
										国際経済研究	2		国際協力研究	2						
										国際機構研究	2		安全保障研究	2						
										安全保障研究	2		国際政治経済研究	2						
										国際政治経済研究	2		異文化科目群	イギリス文学研究	2					
イギリス文学研究	2	現代イギリス文学研究	2																	
英語表現法	2	アメリカ文学研究	2																	
アメリカ文学研究	2	現代アメリカ文学研究	2																	
英語教育法研究概論	2	英語教育法研究概論	2																	

【全専攻共通科目】

区分	授業科目	単位
特別研究科目	特別研究基礎	2
	特別研究1	2
	特別研究2	2
	特別研究3	2
専攻共通科目	社会システム総合概論	2
留学生特別科目	日本語特別研究	2

2025年度北九州市立大学大学院
法学研究科（修士課程）入学願書

受験番号 (記入不可)

選抜区分 <input type="checkbox"/> 一般選抜 <input type="checkbox"/> 社会人特別選抜 <input type="checkbox"/> 外国人留学生特別選抜		日程 <input type="checkbox"/> 夏期日程 <input type="checkbox"/> 冬期日程	
フリガナ	性別		写真貼付欄 ・縦4cm×横3cm ・上半身、脱帽、無背景、正面向き ・出願前3ヵ月以内に撮影したもの ・写真の裏に氏名を記入し、全面のりづけ
氏名	男・女		
氏名のアルファベット(大文字)表記			
生年月日（西暦）	年 月 日	国・地域(留学生のみ)	
年齢（2025年4月1日時点）	_____歳		
現住所※合格通知等の書類は全てこの住所に送付されます。海外在住の方で送付先が異なる場合は必ずお知らせください。			
郵便番号 _____			
電話番号（ ） _____		携帯電話（ ） _____	
E-mail _____			
緊急連絡先（本人以外）※日本国内居住者に限る			
郵便番号 _____	電話番号（ ） _____	_____	
住所 _____	携帯電話（ ） _____	_____	
フリガナ 氏名 _____	(続柄) _____		

○志望するコース・分野の□欄にレを、選択科目欄は試験科目名を記入してください

研究科名	コース	分野	選択科目	希望する研究指導教員名
法学研究科	<input type="checkbox"/> 研究者コース	<input type="checkbox"/> 法律学系	1類選択科目名（注1）	_____（注3）
	<input type="checkbox"/> 専修コース	<input type="checkbox"/> 政策科学系	2類選択科目名（注2）	

- ※ 受験番号の欄は記入しないこと。
- ※ （注1）（注2）選択科目は6ページの試験科目「別表1及び2」を参照し、記入すること。社会人特別選抜は記入不要。
- ※ （注3）希望する研究指導教員名は17～18ページの研究指導教員（「○」記載の教員）から選んで記入すること。

(裏面へ)

※法学研究科用

受験番号 (記入不可)	
----------------	--

履歴書			
年	月	年数	経歴等 (学歴・職歴・研究歴等について記入のこと)
自	年	月	小学校名 (初等教育) ※外国人留学生のみ記入
至	年	月	
自	年	月	中学校名 (中等教育) ※外国人留学生のみ記入
至	年	月	
自	年	月	高等学校名 (中等教育)
至	年	月	
自	年	月	大学・学部・学科・専攻名 (高等教育)
至	年	月	
自	年	月	大学院・研究科・専攻名 (高等教育)
至	年	月	
自	年	月	
至	年	月	
自	年	月	職歴
至	年	月	
自	年	月	
至	年	月	
自	年	月	
至	年	月	
自	年	月	
至	年	月	

※編入学等の履歴については空欄に記入すること

○研究成果・報告書・公的資格などこれからの研究の参考となる経歴について記入すること

年・月	タイトル	備考 (論文の内容・認定機関名他)

2025年度北九州市立大学大学院
社会システム研究科（博士前期課程）入学願書

受験番号 (記入不可)

選抜区分 <input type="checkbox"/> 一般選抜 <input type="checkbox"/> 社会人特別選抜 <input type="checkbox"/> 外国人留学生特別選抜		日程 <input type="checkbox"/> 夏期日程 <input type="checkbox"/> 冬期日程	
フリガナ		性別	写真貼付欄 ・縦4cm×横3cm ・上半身、脱帽、無背景、正面向き ・出願前3ヵ月以内に撮影したもの ・写真の裏に氏名を記入し、全面のりづけ
氏名		男・女	
氏名のアルファベット(大文字)表記			
生年月日(西暦)	年 月 日	国・地域(留学生のみ)	
年齢(2025年4月1日時点)		歳	
現住所※合格通知等の書類は全てこの住所に送付されます。海外在住の方で送付先が異なる場合は必ずお知らせください。			
郵便番号		-	
電話番号()		- 携帯電話() -	
E-mail			
緊急連絡先(本人以外)※日本国内居住者に限る			
郵便番号		-	
住所		電話番号() -	
フリガナ氏名		携帯電話() -	
フリガナ氏名 _____ (続柄) _____			

○志望する専攻・領域・分野等の口欄にレを記入してください

専攻	領域・分野・研究科目・選択科目	希望する研究指導教員名(注3)
<input type="checkbox"/> 現代経済	<input type="checkbox"/> 経済分野 <input type="checkbox"/> 会計・経営分野 志望科目名(注1)	
<input type="checkbox"/> 地域 コミュニティ	<input type="checkbox"/> コミュニティ基礎 <input type="checkbox"/> コミュニティ実践 <input type="checkbox"/> フィールド文化	
<input type="checkbox"/> 文化・言語	<input type="checkbox"/> 英米言語文化領域(研究科目(注2)))	
	<input type="checkbox"/> 中国言語文化領域(研究科目(注2)))	
	<input type="checkbox"/> 比較文化領域(研究科目(注2))) 以下、一般選抜のみ記入 <input type="checkbox"/> 小論文 <input type="checkbox"/> 英語 希望する研究指導教員の指示に従うこと	
<input type="checkbox"/> 東アジア	<input type="checkbox"/> 英語2問 <input type="checkbox"/> 英語1問・中国語1問 <input type="checkbox"/> 中国語2問 <input type="checkbox"/> 英語1問・朝鮮語1問 <input type="checkbox"/> 朝鮮語2問 <input type="checkbox"/> 中国語1問・朝鮮語1問	

※ 希望する研究指導教員に出願前に連絡を取ること。
連絡済の場合は右の口欄にレを記入してください。チェック欄□

- ※ 受験番号の欄は記入しないこと。
- ※ (注1) 志望科目は7ページの試験科目「別表」を参照し、記入すること。
- ※ (注2) 研究科目は22ページの科目から選んで記入すること。
- ※ (注3) 希望する研究指導教員名は20～23ページの研究指導教員から選んで記入すること。

(裏面へ)

※社会システム研究科用

受験番号 (記入不可)	
----------------	--

履歴書			
年	月	年数	経歴等 (学歴・職歴・研究歴等について記入のこと)
自	年	月	小学校名 (初等教育) ※外国人留学生のみ記入
至	年	月	
自	年	月	中学校名 (中等教育) ※外国人留学生のみ記入
至	年	月	
自	年	月	高等学校名 (中等教育)
至	年	月	
自	年	月	大学・学部・学科・専攻名 (高等教育)
至	年	月	
自	年	月	大学院・研究科・専攻名 (高等教育)
至	年	月	
自	年	月	
至	年	月	
自	年	月	職歴
至	年	月	
自	年	月	
至	年	月	
自	年	月	
至	年	月	
自	年	月	
至	年	月	

※編入学等の履歴については空欄に記入すること

入学資格審査対象者のうち、学歴・職歴以外で記載する事項がある場合は以下に記入すること (任意)

自	年	月	
至	年	月	
自	年	月	
至	年	月	
自	年	月	
至	年	月	

○研究成果・報告書・公的資格などこれからの研究の参考となる経歴について記入すること

年・月	タイトル	備考 (論文の内容・認定機関名他)

2025年度北九州市立大学大学院法学研究科(修士課程)入学試験受験票

受験番号(記入不可)		
選 抜 区 分	<input type="checkbox"/> 一般選抜 <input type="checkbox"/> 社会人特別選抜 <input type="checkbox"/> 外国人留学生特別選抜	
日 程	<input type="checkbox"/> 夏期日程 <input type="checkbox"/> 冬期日程	
研 究 科 名	法 学 研 究 科	
コ ー ス (注1)	<input type="checkbox"/> 研究者コース <input type="checkbox"/> 専修コース	
分 野 (注2)	<input type="checkbox"/> 法律学系 <input type="checkbox"/> 政策科学系	
選択科目名 (注3)		
氏 名		
試 験 日 時	夏期日程	2024年8月25日(日)
	冬期日程	2025年2月2日(日)
集 合 時 間	8時30分集合 専修コースの社会人特別選抜区分の者は、13時45分集合	
試 験 会 場	北九州市立大学 北方キャンパス本館 093-964-4022 (募集要項裏表紙の案内図を参照)	

- ※ 太枠内のみすべて記入してください。
- ※ (注1)(注2)は入学願書と同じ項目の□欄にレを記入してください。
- ※ (注3)は入学願書と同じ科目名を記入してください。社会人特別選抜は記入不要。
- ※ 遅刻は、試験開始後30分までに入室した者に限り認めます。ただし、面接の遅刻は認めません。
- ※ **この受験票は入学手続に必要です。試験終了後も大切に保管しておいてください。**
- ※ 出願後に住所の変更を行った場合は、必ず入学試験係へ連絡してください。

受付印

宛名カード

〒	—
住所	_____
_____	_____
氏名	_____様
受験番号(記入不可)	_____

宛名カード

〒	—
住所	_____
_____	_____
氏名	_____様
受験番号(記入不可)	_____

写真票

志 望 研 究 科 名
法 学 研 究 科
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>写真貼付欄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦4cm×横3cm ・上半身、脱帽、無背景、正面向き ・出願前3ヵ月以内に撮影したもの ・写真の裏に氏名を記入し、全面にのりづけ </div>
(フリガナ) 氏名 _____
受験番号(記入不可) _____

宛名カードは、合格通知書等を送付する際に使用します。宛名は、志願者本人に限ります。住所は、通知書を確実に受け取れる住所(団地・アパート名・号室等まで)を記入してください。なお、宛名カードは2枚とも同じ住所を記入してください。

2025年度北九州市立大学大学院社会システム研究科(博士前期課程)入学試験受験票

受験番号(記入不可)				
選 抜 区 分	<input type="checkbox"/> 一般選抜 <input type="checkbox"/> 社会人特別選抜 <input type="checkbox"/> 外国人留学生特別選抜			
日 程	<input type="checkbox"/> 夏期日程 <input type="checkbox"/> 冬期日程			
専 攻(注1)	<input type="checkbox"/> 現代経済	<input type="checkbox"/> 地域コミュニティ	<input type="checkbox"/> 文化・言語	<input type="checkbox"/> 東アジア
領域・分野・選択科目(注1)	<input type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 会計・経営 <small>(注2)</small>	<input type="checkbox"/> コミュニティ基礎	<input type="checkbox"/> 英米言語文化	<input type="checkbox"/> 英語2問 <input type="checkbox"/> 英語1問・中国語1問
志 望 科 目		<input type="checkbox"/> コミュニティ実践	<input type="checkbox"/> 中国言語文化	<input type="checkbox"/> 中国語2問 <input type="checkbox"/> 英語1問・朝鮮語1問
		<input type="checkbox"/> フィールド文化	<input type="checkbox"/> 比較文化	<input type="checkbox"/> 朝鮮語2問 <input type="checkbox"/> 中国語1問・朝鮮語1問
氏 名				
試 験 日 時	夏期日程	2024年8月25日(日)		
	冬期日程	2025年2月2日(日)		
集 合 時 間	_____ 時 _____ 分 集 合			
試 験 会 場	北九州市立大学 北方キャンパス本館 093-964-4022 (募集要項裏表紙の案内図を参照)			

- ※ 太枠内のみを記入してください。
- ※ (注1) は入学願書と同じ専攻の□欄にレを記入してください。
- ※ (注2) は入学願書と同じ科目名を記入してください(現代経済専攻志願者のみ)。
- ※ 遅刻は、試験開始後30分までに入室した者に限り認めます。ただし、面接の遅刻は認めません。
- ※ この受験票は入学手続きに必要です。試験終了後も大切に保管しておいてください。
- ※ 出願後に住所の変更を行った場合は、必ず入学試験係へ連絡してください。

受付印

宛名カード

〒 _____
住所 _____

氏名 _____ 様
受験番号(記入不可) _____

宛名カード

〒 _____
住所 _____

氏名 _____ 様
受験番号(記入不可) _____

写真票

志望研究科・専攻名		
社会システム研究科	専攻	
<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;"> 写真貼付欄 ・縦4cm×横3cm ・上半身、脱帽、無背景、正面向き ・出願前3ヵ月以内に撮影したもの ・写真の裏に氏名を記入し、全面にのりづけ </td> </tr> </table>		写真貼付欄 ・縦4cm×横3cm ・上半身、脱帽、無背景、正面向き ・出願前3ヵ月以内に撮影したもの ・写真の裏に氏名を記入し、全面にのりづけ
写真貼付欄 ・縦4cm×横3cm ・上半身、脱帽、無背景、正面向き ・出願前3ヵ月以内に撮影したもの ・写真の裏に氏名を記入し、全面にのりづけ		
(フリガナ) 氏名 _____		
受験番号(記入不可) _____		

宛名カードは、合格通知書等を送付する際に使用します。宛名は、志願者本人に限ります。住所は、通知書を確実に受け取れる住所(団地・アパート名・号室等まで)を記入してください。なお、宛名カードは2枚とも同じ住所を記入してください。

2025年度北九州市立大学大学院入学資格審査申請書

フリガナ							
氏名							
研究科(専攻)名	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">・法学研究科</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">コース</td> <td style="width: 33%; text-align: right;">分野</td> </tr> <tr> <td>・社会システム研究科</td> <td style="text-align: center;">専攻</td> <td style="text-align: right;">分野・領域・科目</td> </tr> </table>	・法学研究科	コース	分野	・社会システム研究科	専攻	分野・領域・科目
・法学研究科	コース	分野					
・社会システム研究科	専攻	分野・領域・科目					
指導教員名							

添付資料の記載内容(研究計画、研究経過報告等)・・・【指定した字数・枚数のものを作成すること(様式任意)】

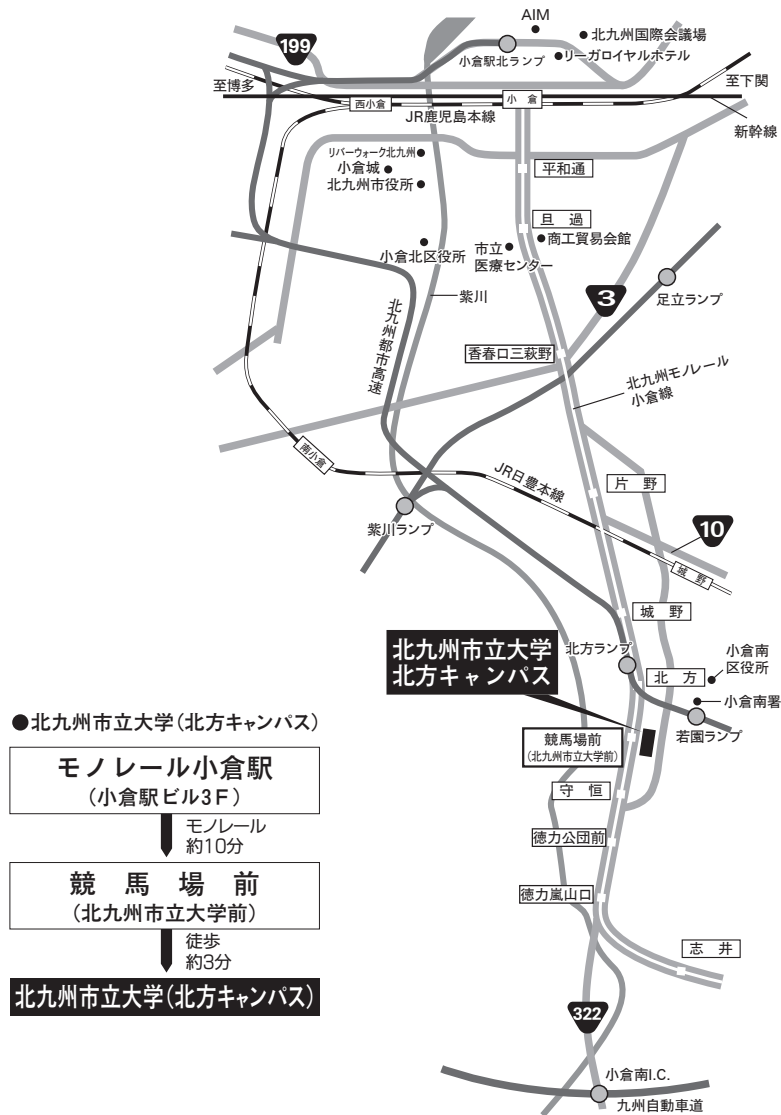
法学研究科	研究計画書(2000字～4000字程度) なお、必ず志望研究科名と名前を明記してください。
社会システム研究科	研究テーマ及び研究計画について、A4用紙1枚(1200字程度)で作成すること。 なお、必ず志望専攻名と名前を明記してください。

志望理由記入欄

※不足する場合は、裏面に記入すること。

A large rectangular area with a solid top and bottom border and a dashed middle border, resembling a writing template. The dashed line runs horizontally across the center of the rectangle, leaving a significant amount of space above and below it. The entire area is empty and white.

試験会場



お問い合わせ先

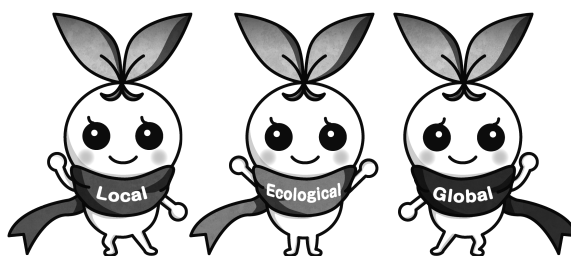
北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係

〒802-8577 北九州市小倉南区北方四丁目2番1号

TEL : 093-964-4022

E-mail : nyushi2@kitakyu-u.ac.jp

https : //www.kitakyu-u.ac.jp/



北九州市立大学 公式マスコットキャラクター

きたきゅっち